

静岡県立浜北西高等学校 部活動に係る活動方針

1 教育目標の位置づけ

(1) 教育目標

本校校訓「自己を拓く」の意義を捉え、部活動をとおして、心身ともに健康で、高い志や豊かな心を持ち、「豊かな個性」「コミュニケーション能力」「人間力」を備えた人間を育成する。

(2) 目標具現化の柱

- ①計画的・効率的・効果的に実施することにより、生徒の時間管理能力を醸成する。
- ②保護者や地域、大学や企業等との連携・協働をとおして社会や地域に貢献する。

2 設置部活動

運 動 部		文 化 部	
陸上競技	男子バスケット	吹 奏 楽	情報処理
野 球	柔 道	写 真	茶 道
男子テニス	剣 道	美 術	華 道
女子テニス	弓 道	書 道	ボランティア
サッカー	水 泳	囲 碁	演 劇
ソフトボール		サイエンス	
卓 球		家 庭	
女子バレー		総合文芸	

3 部活動運営

(1) 成果目標

- ①部活動に積極的に取り組んでいると答える生徒 80%以上
- ②県大会出場 10 部活動以上
- ③1 部活 1 ボランティア（交流）活動の実施

(2) 指導体制

- ①事故の未然防止や体罰根絶に努めるとともに、施設設備や用具等の安全点検を適宜実施する。
- ②部活動内の円滑な人間関係の構築を図り、いじめ防止に努める。
- ③活動に要する費用を徴収する場合は、保護者の理解を得るとともに、会計処理を適切に行う。

(3) 活動日・活動時間

- ①週当たり 2 日以上（平日 1 日、週休日 1 日）の休養日を設けることに心掛ける。部活動の種目の特質によりハイシーズンに多く活動を計画する場合は、長期休業中やテスト期間、オフシーズン等に休養日を多く設定するなど、年間 80 日以上休養日を設定できるよう努める。
- ②合理的でかつ効率的・効果的な活動を行い、活動時間は、長くても平日では 3 時間程度、休日では 4 時間程度とする。公式試合や練習試合等で時間を超過して活動する場合は、他の日の活動を短縮するなどして調整し、休養に充てる。

③5月から10月までは、熱中症計をチェックしながら常に活動環境を把握し、適宜水分補給や休憩時間を確保する。また、活動時間の短縮や活動の中止などを適切に行うなどして熱中症対策に努める。

(4) 活動計画

- ①各部活動顧問は、年間活動計画・月間活動計画を作成し、管理職に提出する。
- ②各部活動顧問は、活動計画を定期的に生徒・保護者に提供し、開かれた部活動を目指す。
- ③年間活動計画・月間活動計画はそれぞれ様式1・様式2に従って作成する。